

# 環境レポート2005

できることから、あなたと始める環境活動



ユニー株式会社



# 会社概要

■ 本社	〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
■ 設立	1950年3月13日
■ 資本金	101億2,925万円(2005年2月現在)
■ 代表者	佐々木孝治
■ 事業内容	衣・食・住・余暇にわたる総合小売業のチェーンストア
■ 売上構成	衣料品21%・食料品57%・住居関連品20%・その他2%(2005年2月実績)
■ 決算期	2月20日(年1回)／東京・名古屋(各1部)の各市場に上場
■ 店舗数	1都17県下の主要都市に158店舗(2005年6月現在)
■ 従業員数	26,544名
■ 売上高	7,138億円(2005年2月実績)
■ 主要取引銀行	UFJ銀行、農林中央金庫、東京三菱銀行、みずほコーポレート
■ HPアドレス	http://www.uny.co.jp
■ グループ連結売上高	1兆1,913億円(2005年2月現在)
■ 主なグループ企業	(株)サークルKサンクス、(株)ユースストア、(株)さが美、(株)パレモ、(株)モリエ、(株)ラフォックス、(株)鈴丹、(株)東京インセンス、UNY [HK] CO.,LTD.、(株)ユーライフ、(株)UCS、(株)サン総合メンテナンス、(株)サンリフォーム、(株)ユニコム、(株)マイサポート、(株)ユニフード、青木ヶ原高原開発(株)、東名クラウン開発(株)

## 事業所

※2005年6月現在

### 北陸本部

- 福井県  
ジョイマートユニー丸岡店、アビタ武生店、アビタ敦賀店、アビタ福井店、アビタ福井大和田店、ユーホーム福井大和田店
- 石川県  
ユニー七尾店、アビタ金沢店、アビタ松任店、ユーホーム松任店
- 富山県  
ユニー大島店、ユニー小矢部店、アビタ魚津店、アビタ黒部店、アビタ礪波店、アビタ富山店、アビタ富山東店、アビタ食品館富山西町店

### 中京本部

### 中京本部

- 名古屋市  
ユニーアラタマ店、ユニー今池店、ユニー大曾根店、ユニー黒川店、ユニー柴田店、ユニー中村店、ユニー守山店、アビタ新守山店、アビタ千代田橋店、アビタ東海通店、アビタ名古屋北店、アビタ名古屋南店、アビタ鳴海店、アビタ緑店、アビタ港店、ラフスコア神野店、ラフスコア正保店、ラフスコア萱場店、ラフスコア滝ノ水店
- 愛知県  
ユニー安城店、ユニー一宮店、ユニー岩倉店、ユニー乙川店、ユニー香久山店、ユニー国府店、ユニー新城店、ユニー武豊店、ユニー知立店、ユニー常滑店、ユニー豊明店、ユニー西尾駅東店、ユニー尾西店、ユニー碧南店、アビタ阿久比店、ユーホーム阿久比店、アビタ稲沢店、ユーホーム稲沢店、アビタ大口店、アビタ大府店、アビタ岡崎北店、アビタ刈谷店、アビタ蒲郡店、アビタ木曽川店、アビタ江南店、アビタ江南西店、アビタ高蔵寺店、アビタ小牧店、ユーホーム小牧店、アビタ瀬戸店、アビタ知立店、アビタ東海荒尾店、アビタ桃花店、アビタ豊明店、アビタ豊川店、

### 北陸本部

- アビタ豊田元町店、アビタ長久手店、アビタ向山店、ユーホーム安城店、ユーホーム矢作店、ラフスコア豊川店
- 岐阜県  
ジョイマートユニー恵那店、ジョイマートユニー各務原店、ユニー可児店、ユニー関店、ユニー多治見店、ユニー多治見駅前店、ユニー長良店、ユニー瑞浪店、アビタ各務原店、ユーホーム各務原店、アビタ北方店、アビタ岐阜店、アビタ飛騨高山店、アビタ津川店、アビタ美濃加茂店
- 三重県  
ジョイマートユニー阿倉川店、アビタ伊賀上野店、アビタ桑名店、アビタ鈴鹿店、アビタ名張店、アビタ松阪三雲店、ユーホーム松阪三雲店、アビタ四日市店
- 長野県  
ジョイマートユニー飯田駅前店、アビタ飯田店、アビタ伊那店、アビタ岡谷店、アビタ高森店
- 奈良県  
アビタ大和郡山店、ユーホーム大和郡山店

### 関東本部

### 関東本部

- 新潟県  
アビタ新潟亀田店、ユーホーム新潟亀田店、アビタ新潟西店、ユーホーム新潟西店
- 栃木県  
アビタ足利店、アビタ宇都宮店
- 群馬県  
ユニー太田店、ジョイマートユニー藤岡店、アビタ伊勢崎東店、アビタ笠懸店、アビタ高崎店、アビタ館林店
- 茨城県  
ユニー守屋店、アビタ石下店、アビタ佐原東店、アビタ総和店
- 埼玉県  
ユニー大桑店、ユニー川本店、ユニー騎西店、アビタ岩槻店、アビタ吹上店、アビタ本荘店
- 東京都  
アビタイースト21店
- 神奈川県  
ユニーセザキ店、ユニー大口店、ユニー金沢文庫店、ユニー弘明寺店、ユニー座間店、ユニー大雄山店、ユニー長後店、ユニー戸塚店、ユニー中山店、ユニー日吉店
- 千葉県  
アビタ市原店、アビタ木更津店、アビタ君津店、アビタ八千代店

### 静岡本部

- 山梨県  
アビタ田富店
- 静岡県  
ユニー伊東店、ユニー磐田店、ユニー掛川店、ユニー駿東店、ユニー浜松泉町店、ユニー富士宮店、ユニー吉原店、アビタ大仁店、アビタ島田店、アビタ初生店、アビタ藤枝店、アビタ浜北店



## 環境理念

地球規模での環境破壊が深刻化している今日、  
環境に優しい循環型社会実現のために、  
ユニーは企業活動を通じて貢献します。

## 環境方針

ユニー株式会社は

- ① 総合小売業として環境負荷の少ない安心安全な商品及びサービスの提供に努めます。
- ② 全従業員が環境問題に関心を持ち、「環境活動」「環境教育」を通じて、汚染の予防及び継続的な改善に努めます。
- ③ 環境側面に関連して適用可能な環境に関連する法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守し、お客様ならびに一般市民・行政機関とパートナーシップをとり、人と環境に優しい社会の実現に努めます。
- ④ 環境目的・環境目標を設定し、限りある資源を大切にするために、省資源・省エネルギーに取り組み、廃棄物の排出抑制、リサイクルを推進します。
- ⑤ この環境方針を実行・維持し、当社で働く全従業員並びに関係する人々に周知し、広く一般に開示します。

2005年5月1日

ユニー株式会社  
代表取締役社長

佐々木 孝治

## Contents

会社概要・事業所	1
環境理念・環境方針	2
社長インタビュー	3
環境マネジメント	5
環境計画の概要	7
容器包装の削減	9
廃棄物発生抑制の取り組み	11
ユニーの 食品廃棄物リサイクルシステム	13
環境学習	15
環境負荷	17
環境負荷軽減への取り組み	19
店舗での取り組み	21
環境配慮商品	23
ピック・アップ・ストア① アビタ瀬戸店	25
ピック・アップ・ストア② アビタ江南西店	27
お客様の声	28
地域への貢献、社会への貢献	30

### 環境レポート2005

- 対象範囲  
ユニー株式会社  
158店舗及び本社事務所  
(各本部含む)
  - 対象読者  
ユニーをご利用いただくお客様のほか、店舗の近隣住民の方々・お取引先・従業員など、ユニーに関わる全ての皆様を対象とします。
  - 対象期間  
2004年度  
(2004年2月21日～2005年2月20日)
- ※一部2002年度以前の実績や、2003年度以降の活動・目標を記載しています。



自然との調和を大切に

「未来の子供達に美しい自然を残したい」ユニーは  
環境に優しい生活をお客様と一緒に進めていきます。



# 社長インタビュー



## 環境問題に積極的に取り組み、その重要性をみなさんにアピールしよう

年々深刻化する環境問題に対して、ユニーはどのような対策を実践しているのでしょうか。また業界全体にはどのような動きがあるのでしょうか。チェーンストア協会会長を務める佐々木孝治代表取締役社長に最近の動きを伺いました。  
聞き手:営業本部e-ショッププロジェクトマネジャー・山田陽一朗、寺渉夫



ユニー株式会社  
代表取締役社長

佐々木孝治

### 2004年から4年間でマイナス6%を達成

——ユニーは2001年に環境部を設置し、各種環境問題への対応や地域での環境活動などを検討する環境会議も立ち上げるなど、さまざまな形で環境活動を推進しています。2004年1月には環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を本社で取得し、継続的な環境活動をユニーのマネジメントシステムに取り入れました。

**佐々木** ISO14001の認証は、本社に続いて2004年12月9日に静岡本部が取得し、2005年7月9日に北陸本部が取得審査を受けます。2005年10月に関東本部も審査を受けるので、取得すれば全地区本部での取得になります。その後はそれぞれの店舗で展開を予定しています。

——2005年6月2日には「チーム・マイナス6%」のメンバーになりましたね。

**佐々木** 「チーム・マイナス6%」は環境省が地球温暖化対策のために立ち上げた国民的

プロジェクトです。みんなで立ち向かえば大きな力になるという姿勢で「冷房は28度に」「エコ商品を選んで買おう」といった6つの目標に取り組んでいます。ユニー本社事務所では、電気使用量の環境目標を2003年から4年間で6%削減していますが、現在3%の削減に到達しました。店舗におきましては、現在取り組み中です。

——食品リサイクル法の対策として取り組んでいる「地域循環システムの構築」についてはどのような進展が見られますか。

**佐々木** 食品リサイクル法対応として、4年前から愛知経済連と連携して生ゴミを堆肥の原料とする循環型農業に取り組み、2004年には稲沢と一宮の店舗で通年販売できるようになりました。この取り組みを他店舗に広げ、各地域ならではの「地産地消」システムを実現させたいですね。



## レジ袋有料化への対応策を業界として検討

—— 2005年夏に政府が普及を呼びかけた夏の軽装化「COOL BIZ(クールビズ)」についてはいかがですか。

**佐々木** ユニーでは一足早く前年の2004年から実施しています。6月から9月までノーネクタイですから、28度の温度設定で快適に過ごせますよ。

—— 愛・地球博(愛知万博)では6月5日の環境の日にちなんだ環境省が企画した「COOL BIZ」のファッションショーにモデルとして登場されました。

**佐々木** 登場した財界のみなさんは環境問題への関心が高く、勉強になりました。モデルは初体験でしたが、君たちも登場してくれたので心強かったですよ。

—— 光栄です(笑)。さて、佐々木社長は2005年5月20日付でチェーンストア協会会長に就任されました。業界としては環境問題に今後どう取り組んでいくのでしょうか。

**佐々木** 私ども小売業はお客さまにとって身近な存在であるだけに、環境問題に積極的に取り組んで環境対策の重要性を多くのお客さまに理解していただく役割を担っているともいえます。そこで、環境に配慮したエコ商品を提供したり、食品トレーやアルミ缶、牛乳パックを回収したり、ノーレジ袋運動を行うなど、お客さ

まと一緒に環境対策を実践する方策をこれからも打ち出していきます。また店頭ポスターやインターネットのホームページなどで環境問題に関する情報を提供するサービスも展開していきます。もちろん、営業中のエネルギー消費を節約するなど、事業者として実践すべきことは実践します。

2006年度の見直しが検討されている容器包装リサイクル法のレジ袋の扱いについて、もし、法律で「無料配布の禁止」が決められたら、環境保護基金のような目に見える形で活用できないかなどを検討したいと思います。

—— 年間300億枚も流通しているといわれるレジ袋の使用を控えることができれば、プラスチックごみの減量化につながりますし、石油という限りある天然資源の利用抑制にもなりますね。

**佐々木** そうです。2004年9月1日、ユニーの全従業員にマイバッグを渡したのも、まずは自分たちからレジ袋の使用を控えるべきだと考えたからです。

—— まだまだ見直すべき点は見つかりそうですね。私たちが担当するインターネットによる無店舗販売も、環境問題の解決という側面から検討を重ねていきたいと思っています。今日はありがとうございました。



営業本部 e-ショッピングプロジェクト  
マネジャー  
山田陽一郎



営業本部 e-ショッピングプロジェクト  
マネジャー  
寺渉夫

6月5日の環境の日、愛・地球博で開催された環境省企画の「COOL BIZ」ファッションショーに、ユニーからも社長以下3名がモデルとして参加しました。



### Topics



みんなで止めよう温暖化  
チーム・マイナス6%

2005年2月、地球温暖化を解決するために世界が協力して定めた京都議定書が発効されました。日本が世界に約束した温室効果ガスの排出量削減目標は1990年比でマイナス6%。ところが、2002年度の比較で産業界からの排出量は1.7%減りましたが、家庭用は28.8%も増えるなど、目標達成は容易ではありません。そこで環境省はみんなで力を合わせてマイナス6%を実現しようと、国民参加型プロジェクト「チ

### 小さな力を合わせて大きな力に「チーム・マイナス6%」

ーム・マイナス6%」を立ち上げました。

設定されたアクションプランは「冷房は28度に設定しよう」「蛇口はこまめにしめよう」「アイドリングをなくそう」「エコ製品を選んで買おう」「過剰包装を断ろう」「コンセントからこまめに抜こう」の6つです。

参加者にはチームナンバーが発行されます。ちなみに1番は小泉総理。あなたも参加してみませんか?

# 環境マネジメント

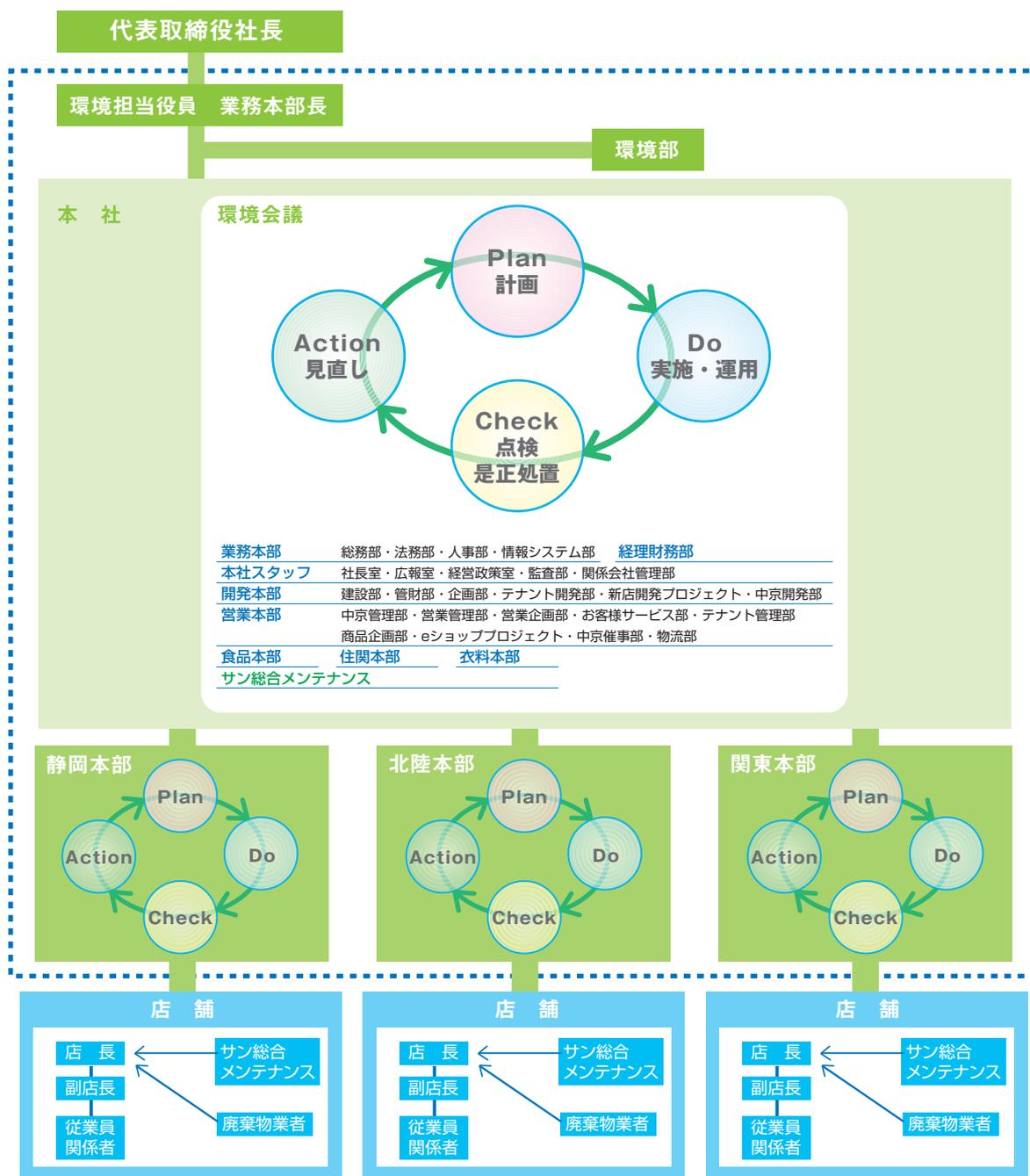
## ユニーの環境マネジメントシステム

ユニーは「未来の子供達に美しい自然を残したい」と、環境保全活動を各事業所、店舗で実施してきました。2001年に業務本部に環境方針を掲げ、環境部を設けました。そして環境会議を設置し「環境にやさしい企業」を念頭に、さらには環境汚染の予防と継続的な改善を目指し、2003年にISO14001を導入し、本社事務所ならびに各地区本部での環境マネジメントシステムの構築を図っています。

### 組織図

#### 環境マネジメント組織 (EMS組織)

環境保全活動に対する取り組みを、Plan (計画・目的目標の立案)、DO (実行)、Check (検証)、Action (見直し、改善) のスパイラルで、環境方針を実現するために、環境マネジメントシステムを構築しています。



## ISO14001 認証取得

ISO14001 環境マネジメントシステムへの取り組みは、2003年に本社事務所でスタートし、2004年1月に認証取得しました。そして静岡本部事務所が2004年12月に認証取得し、北陸本部と関東本部が2005年中に認証取得する予定です。  
店舗での環境活動については、毎朝の店舗周辺清掃活動に始まり、店舗から排出される廃棄物の分別・計量、リサイクル推進及び、省工

ネ省資源活動を実施しています。また、お客様と一緒に進める環境保全活動として、容器包装の使用削減やリサイクルを目的にした、「お買い物袋持参運動(マイバッグキャンペーン)」、「リサイクルボックス(牛乳パックやトレイなどの回収)」を展開しています。  
これらの活動をもっと推進していくために、また「環境方針を具現化していくために」PDCAサイクルを実践していきたいと考えています。

2006年  
店舗への展開

2006

関東本部 認証取得予定  
北陸本部 認証取得予定

2005年7月4日  
関東本部キックオフ

2005年3月28日  
北陸本部キックオフ



左:北陸本部キックオフ、右:内部監査員養成研修

2005

2004年12月9日  
静岡本部認証取得

2004年7月26日  
静岡本部キックオフ



静岡本部キックオフ



本社取得審査の様子



サイトツアー  
(サイト内の施設・管理状況の視察)



取得審査、認証取得



ユニーではクールビズが始まっていた



環境マネジメントシステムが機能していることを検証

2004年1月14日  
本社事務所認証取得

2004

2003年9月7日 本社事務所キックオフ

2003年3月17日  
社内環境会議でISO14001の勉強会を開始

2003

2002

2001年6月20日 「環境レポート2001」を発行  
2001年2月21日 本社業務本部に環境部を設置

2001

### ISO14001 認証取得

「環境負荷の軽減・予防と継続的改善」を方針に掲げ、環境マネジメントシステムの構築に取り組んだ結果、2004年1月14日、ISO審査登録機関オリオン・レジストラー社より、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001認証」を本社事務所が取得しました。





# 環境計画の概要

## 環境計画の目標と実績

環境方針に基づき、環境保全活動を推進していくために、具体的な目的・目標を掲げ取り組みました。目標を達成するために、環境会議で検討した計画及び対応策を各部署各店舗で実践し、その結果を踏まえて次の目的・目標を立案し、継続的な改善に努めています。

### 環境計画

環境方針	取り組み項目	2004年目標
環境マネジメントシステムの構築	●ISO14001の構築への取り組み	■本社に続き、各地区本部への拡大を図る
環境負荷の低減 省エネ省資源	●省エネへの取り組み	■省エネ活動の推進 ■省エネ機器の導入  ■エネルギー使用量削減 0.5%
	●物流システムの見直し	■一括物流により、店舗への配送便を削減する ■通い箱の使用拡大により、ダンボールの削減をする
	●包装資材の使用削減	■レジ袋・トレイ・包装紙・紙袋の使用削減
	・お買い物袋スタンプカード回収枚数 ・レジ袋辞退率の向上	■2003年実績（338,506枚）の110% 372,357枚  ■辞退率10%
廃棄物の適正処理 とリサイクル推進	●廃棄物の適正処理	■廃棄物処理契約書の見直し
	●廃棄物排出削減	■店舗への廃棄物計量機の設置による、分別の徹底と削減 ■リサイクルハンガー使用拡大と廃棄ハンガーの削減
	●リサイクル推進	■食品リサイクル法への対応  ■廃プラのリサイクルへの取り組み
	●店舗での容器回収の推進	■店舗のリサイクルボックスで家庭から出る回収容器のリサイクルを推進する
グリーン購入		■OA紙のグリーン購入率85.0%
環境情報の開示 と環境保全活動	●環境情報の開示	■環境保全活動などの情報を開示し、コミュニケーションを実施する
	●環境保全活動	■店舗、事業所周辺の清掃活動の継続
	●環境学習会	■子供環境学習会を実施する



2004年結果	2005年目標															
■ 静岡本部認証取得	■ 北陸本部・関東本部認証取得															
■ 各店舗でエネルギー管理を実施 ■ 新規開発店舗において、空調機器・照明などに省エネ機器を導入した ■ 6月の環境月間に「ブラックイルミネーションキャンペーン」に参加 ■ 営業時間拡大、新店開店により未達成であった	■ 室温管理や照明の見直しによる、省エネ活動の実施 ■ 冷蔵庫や空調機器に省エネ対応機種の導入 ■ 「ブラックイルミネーション」に全店参加する															
■ 中京・静岡・関東本部で実施 ■ 日用品、食品で通い箱の使用拡大	■ エネルギー使用量削減 0.5% ■ 全地区へ拡大 ■ 通い箱の使用拡大により、ダンボールの削減をする (20%削減)															
<table border="1"> <tr> <td>レジ袋</td> <td>2242t</td> <td>33,430万枚 (前年比96%)</td> </tr> <tr> <td>包装紙</td> <td>262t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>紙袋</td> <td>955t</td> <td>(前年比102%)</td> </tr> </table> <p>421,271枚 (レジ袋1,643万枚削減) 124% (レジを通過したお客様1人に1.95枚配布)</p>	レジ袋	2242t	33,430万枚 (前年比96%)	包装紙	262t		紙袋	955t	(前年比102%)	<table border="1"> <tr> <td>レジ袋</td> <td>枚数で5%削減</td> </tr> <tr> <td>包装紙</td> <td>重量で5%削減</td> </tr> <tr> <td>紙袋</td> <td>重量で2%削減</td> </tr> </table> <p>回収枚数5%向上 (レジ袋82万枚削減)</p>	レジ袋	枚数で5%削減	包装紙	重量で5%削減	紙袋	重量で2%削減
レジ袋	2242t	33,430万枚 (前年比96%)														
包装紙	262t															
紙袋	955t	(前年比102%)														
レジ袋	枚数で5%削減															
包装紙	重量で5%削減															
紙袋	重量で2%削減															
■ 辞退率5.9%	■ 辞退率10%															
■ 廃棄物の種類別に処理費、輸送費を重量単価で契約した	■ 焼却や埋め立て処理を減らし、リサイクルを推進する															
■ 名古屋市内及び新規開店店舗を中心に、18店舗に計量機を設置 ■ 中京本部で導入開始	■ 新規開店店舗及び、既存店舗65店舗に拡大 ■ 全店に拡大する															
■ 新たに3店舗でリサイクル開始、13店舗で実施 ■ リサイクル率23.2%	■ 地域循環の取り組みを拡大する ■ リサイクル率25%															
■ 中京本部の19店舗から商品搬入時に排出される、プラ袋やハンガー・PPバンドを回収し、RPFにリサイクル実施	■ 回収店舗拡大															
■ 牛乳パック 371.0t    トレイ 189.0t ■ アルミ缶 273.2t    ペットボトル 547.1t	■ 回収量の拡大と、取扱い種類を増やす															
■ OA紙のグリーン購入率88.7%	■ OA紙のグリーン購入率90.0% ■ ユニフォームにグリーン製品を導入															
■ 環境レポート2004発行 ■ ホームページで情報発信 ■ 店舗において、環境ポスターの掲示	■ 環境レポート2005発行 ■ ホームページで情報発信 ■ 店舗において、環境ポスターの掲示															
■ 毎日の清掃活動は全店で実施 ■ 愛・地球博に協賛して「クリーン愛知」に参加、中京本部全事業所で実施した	■ 店舗、事業所周辺の清掃活動の継続															
■ 5店舗で11回開催	■ 開催店舗拡大    ■ 10店舗で20回 ■ 白川郷で「夏休み自然探検隊」を開催する															



# 容器包装の削減

## 容器包装をなるべく使わない販売への取り組み（発生抑制）

「環境にやさしいお買い物」をしていただくために、「詰め替え商品」や簡易包装商品を積極的に販売しています。お客様に購入していただいた商品の包装や、お持ち帰りになる際のレジ袋、贈答品のラッピングなども、できるだけ「省資源・廃棄物削減」のために、お客様と一緒に取り組んでいます。

### 簡易パッケージ商品の販売

#### ▶▶▶ 詰め替え商品の積極的販売

#### 🍏 グリーン購入キャンペーン

2002年から東海地方の愛知・岐阜・三重の3県と名古屋市による「東海三県一市グリーンキャンペーン」に参加しています。「環境にやさしいお買い物」をテーマにして、容器や包装が簡便で使い終わった後廃棄物が少ない「詰め替え商品」などを紹介販売し、「ゴミ削減」や「省資源」をお客様にアピールしました。



#### 🍏 環境配慮商品の表示

「省エネ省資源」「環境にやさしい」（環境を汚さない）「リサイクル」（再生資源で作られたり、再生できる商品）を表示ラベルでお客様に紹介しています。お客様に商品を選んでいただく時に「環境に配慮した商品」の目印になります。



### トレイやラップを使わない販売

#### ▶▶▶ 野菜や果物のバラ売り

#### 🍏 野菜・果物バラ売り

お客様に包装資材を用いず、適正な数量を購入していただくために商品によってバラ売りでご提供しています。



#### 🍏 簡易包装

家庭での廃棄物を削減するために、贈答品や商品券の簡易包装を推進しています。



商品券包装



慶事用



弔事用

贈答用包装

### お買物レジ袋削減への取り組み

#### ▶▶▶ レジ袋のサイズや配布の見直しを実施

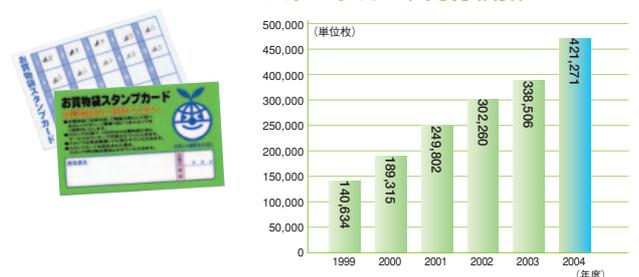
#### 🍏 レジ袋使用量・重量の推移

2000年	1枚当たり重量の軽量化を図るため薄くて強い袋に改善	2,507t
2001年	レジ袋各サイズの容量の見直しを検討	2,265t
2002年	新サイズに切り替え使用枚数削減	2,403t
2003年	お客様に適正枚数配布の教育実施	2,329t
2004年	従業員全員にマイバッグ配布	2,242t
2005年	愛・地球博エコマネーに参加	

### お買物袋持参運動

ユニーでは「省資源」「ゴミ減量」のために、食品取り扱い店舗全店でお買物袋持参運動を実施しています。食品関連レジでお買物袋ご持参のお客様がレジ袋を辞退されたときに、1回の精算につき1個のスタンプを「お買物袋スタンプカード」に押しします。スタンプが20個たまったら、お店のサービスカウンターで100円分の「お買物割引券」と交換しています。リサイクル月間には、ユニーオリジナルのマイバッグと交換できます。

#### スタンプカード発行枚数



## お客様と一緒に取り組んでいます

### マイバッグキャンペーンの展開

2001年10月のリサイクル月間から、ユニーではオリジナルショッピングバッグを差し上げるマイバッグキャンペーンをスタートしました。お買物割引券のかわりにショッピングバッグと交換するキャンペーンを年2回(6月の環境月間と10月のリサイクル月間)実施しています。



## 各自治体とのコラボレーション

### レジ袋いりませんカード

カードはレジ付近に設置し、自由に取っていただけるようになっています。多くのお客様のご協力によってレジ袋を削減しています。



上左から名古屋市、三重県、日本チェーンストア協会、  
下左からユニー・アビタ、豊田市

### ノー・レジ袋の日

ユニーでは毎月5日を「ノー・レジ袋の日」としています。レジ担当者が毎月1日～5日胸にバッジを付け、環境への配慮をアピールしています。



## 容器包装リサイクル法への対応

2000年度より、容器包装リサイクル法に基づき、財団法人容器包装リサイクル協会への委託料金を下表の通り支払いました。2005年、プラスチック製容器包装の廃棄量は5,546tで、委託料金は2億5,090万円でした。同様に紙製容器包装は2,081tで176万円、ペットボトルは140tで221万円、委託金の合計金額は2億5,487万円となりました。

2000年度	7,100万円
2001年度	1億2,100万円
2002年度	1億1,800万円
2003年度	1億4,900万円
2004年度	2億1,355万円
2005年度	2億5,487万円

# 廃棄物発生抑制の取り組み

## 使った容器包装を廃棄物にしない取り組み（リサイクル推進）

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を回収し、再生資源にリサイクルしています。全店にリサイクルボックスを設置し、容器包装資材を回収することにより、捨ててしまえば廃棄物になるトレイや牛乳パックなどを、再び資源として活用できるようにリサイクルの環を実施しています。

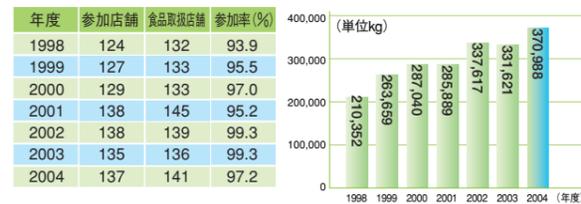
### 容器の店頭回収

#### リサイクルボックスの全店設置

店内に専用のリサイクルボックスを設け、牛乳パックやトレイ、ビン・アルミ缶・ペットボトルなどを回収しています。また、毎月のリサイクル実施状況をポスターにまとめて掲示しています。



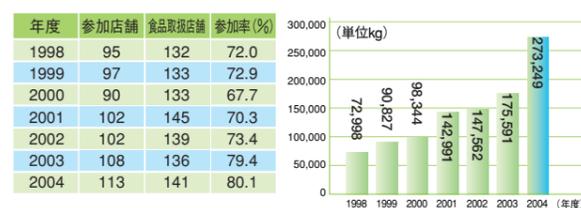
#### 牛乳パックリサイクル実績



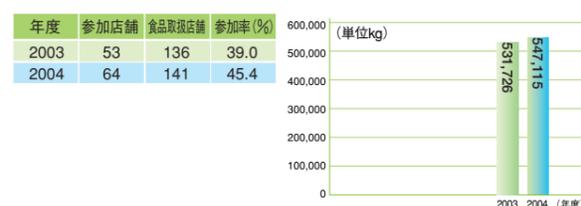
#### 発泡スチロールトレイリサイクル実績



#### アルミ缶リサイクル実績



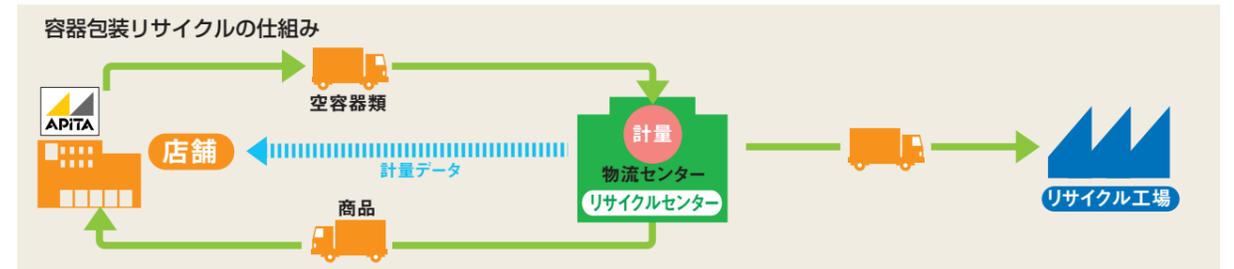
#### ペットボトルリサイクル実績



### 回収した容器のリサイクル

#### リサイクルセンターに集約

中部本部の80店舗で回収した牛乳パック、食品トレイ、アルミ缶などのリサイクル資源は、弥富物流センター内のリサイクルセンターに集められます。ここで店舗ごとのリサイクル資源計量が行われます。また、リサイクルセンターへのリサイクル資源の運搬には商品配送から戻るトラックを使用することで、エネルギー・排気ガス削減に貢献しています。



※計量システムは、中京本部で実施



# ユニーの 食品廃棄物リサイクルシステム

## 食品廃棄物リサイクル

食品の売れ残りや食べ残し、または食品の加工や調理過程において大量の食品廃棄物が発生しています。ユニーでは発生抑制と減量化により最終的に処分される量を削減するとともに、食品廃棄物の循環型リサイクルを実施しています。

### 食品残渣（生ゴミ）を廃棄物にしないために

2001年に廃棄している食品残渣（生ゴミ）を削減するために、「抑制」「再生利用」「減量」を実施し、2006年までに20%削減するための「食品リサイクル法」が施行されました。期限の2006年までにあと1年あまりです。ユニーでは法律施行後、どのように食品リサイクルを推進していくかを検討し、方針を決めました。

### ユニーの食品残渣（生ゴミ）リサイクルの方針

- 1 安全であり環境負荷が少ないこと。  
(大気汚染・水質汚染を予防し、省エネであること)
- 2 再生資源として有効であること。  
(有価資源になり再廃棄しない)
- 3 経費が抑えられること。  
(公共処理料金との比較)
- 4 継続できる方法であること。  
(リサイクルルートが確立していること)

これらの条件から外れることなく、できるだけ地域の中で循環するように努めています。

### 2004年度のリサイクル実績

食品リサイクル率は2004年度、23.22%になりました。2004年度は、新しく開店したアピタ大和郡山店と既存店舗のアピタ伊那店に「真空乾燥機」を導入し、また三重県に開店したアピタ鈴鹿店では地元の循環型農業に参加しました。また、32期から実験的に始めた「循環型農業で栽培した作物」を愛知経済連・JA海部の協力で、通年販売することができました。今後も「地域循環」の環を広げ、またまだ取り組んでいない地域にも「循環型食品リサイクル」を進めていきます。

店舗から発生する食品残渣(生ゴミ)	排出量	リサイクル量	リサイクル率
生鮮食品の調理クズ(野菜・果物他) 賞味期限切れや飲食の食べ残し	16,505t	1,625t	9.85%
魚のアラ (魚介類の調理クズや内臓・骨)	3,307t	2,471t	74.72%
食品廃油(揚げ油他)	1,144t	1,023t	89.42%
てんかす	1,089t	0t	0.00%
合計	22,045t	5,119t	23.22%

### リサイクルへの取り組み

- 2005
  - 三重県で堆肥を作って栽培した作物の販売開始  
(アピタ松阪三雲店)
  - 愛知県で2店舗  
(アピタ瀬戸店、アピタ江南西店)  
乾燥機導入
- 2004
  - 長野県(アピタ伊那店)、奈良県(アピタ大和郡山店)の店舗に真空乾燥機導入
  - 愛知県3店舗で愛知経済連の協力により堆肥化及び作物栽培・販売
  - 三重県で堆肥へのリサイクルに参加  
(アピタ鈴鹿店)
- 2003
  - 富山市内店舗、富山エコタウンに参加
- 2002
  - 茨城県で堆肥へのリサイクルに取り組む
  - 愛知県内店舗に真空乾燥機導入
- 2001
  - アピタ福井大和田店(福井市)リサイクルに参加
- 2000
  - 福井市で堆肥へのリサイクルに取り組む
  - 名古屋市内店舗に熱乾燥処理機導入



## 食品廃棄物の循環型リサイクル

 地元のみなさんと一緒に環作りに取り組んでいます



ユニーの食品リサイクルは、「地域循環型」の方向で取り組んできました。これは、廃棄物に関する法律「廃棄物処理法」が、ユニーから排出する食品残渣(生ゴミ)を一般廃棄物としているため移動させるには制約があり、同時に地元との協力で「地産地消」(地元で取れたものを地元で消費する)を推進していくためです。また2001年からは、愛知経済連とも協力して行い、2004年春には収穫した作物を店舗で実験販売しました。

### 消費者交流会 (JA海部)

食品残渣(生ゴミ)で作った堆肥で栽培した作物を購入していただいている消費者の皆さんと、栽培農家のみなさんの交流会を実施しました。JA海部のご協力で、アビタ稲沢店のお客様を、循環型農業で栽培している農場でイチゴ狩りをしたり、農家の皆さんと意見の交換などを行いました。当日はJAの皆さんが採れたての野菜で郷土料理をふるまってくださいました。



 店舗に処理機を設置して環作りに取り組んでいます



また一方では、店舗の処理機で乾燥させた食品廃棄物を原料にした堆肥で栽培した大根を使い、鮮魚売場で販売する刺身のツマを作っています。

### 食品リサイクル法の概要と課題

(食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律)

食品廃棄物のうち肥料飼料などに有効利用されるものを「食品循環資源」と呼びます。食品リサイクル法では、「循環型社会形成推進基本法」に定める基本原則に基づき食品循環資源の再生利用等の手法に関する優先順位を定めています。

- ① 生産、流通、消費の各段階で食品廃棄物そのものの発生を抑える「発生抑制」を行う。
- ② 再資源化できるものは肥料や飼料などへの「再生利用」を行う。
- ③ 廃棄されるものは「脱水・乾燥」などで「減量」して処分しやすいようにする。

【課題】  
食品残渣を「一般廃棄物」とするか、「再生資源」とするか、廃掃法が障害になっています。

# 環境学習

## 環境について学習しています。

よりよい店づくりを進めるため、情報の開示を積極的に行っています。  
また、社員や地域の子供達に向けて環境学習を実施し、環境に興味を持ちユニーの取り組みを知ってもらうことで、コミュニケーションを図っています。

### 本社従業員教育

#### 環境負荷を低減するための環境教育

本社事務所は2003年からISO14001の環境マネジメントシステムを導入し、全従業員が「環境方針」を実現するために、「廃棄物削減」「省エネ省資源」「コピー用紙の使用削減」を目的に活動しています。



ISO14001のシステムとマニュアルの理解、活動の成果と是正について、定期的に集合教育をしています。



「緊急事態への対応」火災訓練を消防署立会いで実施しています。



本社事務所では、廃棄物削減とリサイクル推進のために、分別の徹底と計量調査を2003年から実施しています。

### 店舗での教育

従業員に店舗での環境保全活動を理解し実践してもらうために、「環境方針」やユニーの環境への取り組みなどについて集合教育をしています。

#### 新規開店店舗での集合教育

ユニーの「環境方針」と店舗での環境保全活動について、テナントその他の従業員にも教育を実施します。



廃棄物の分別とリサイクルについて現場で教育しています。



### 新入社員教育

2004年度から新入社員のオリエンテーションのカリキュラムに環境教育を取り入れています。ユニーの環境への考え方や取り組みの実践などについて、知識と理解をもって各店に配属されます。



### 環境コミュニケーションツール

#### 従業員教育マニュアル

社内規定をまとめたポケットガイドに、環境の基礎知識をまとめました。また、従業員マニュアルに環境のページを加え、より充実させました。



#### 新入社員テキスト

新入社員に対しても入社時から環境に対する知識を身につけ、理解を深める教育も実施しています。



#### 各店舗に環境壁新聞を掲示

ユニーの店内には、環境問題についてわかりやすく紹介した「エコロ壁新聞」を掲示しています。インターネットからもご覧いただけるように、ユニーのホームページでも掲載しています。



#### 社内報での情報の共有

社内報では店舗での取り組みを紹介し、従業員の環境意識を高めています。誌面には、「環境の欄」を設け、会社や各店舗での取り組み、成果などの情報を全従業員と共有化しています。



## 子供達と環境について学習しています

### エコロお店探検隊

地域の子供達に、店内を探検してもらって、「環境にやさしいお買い物」や「混ざっていけばゴミだけど、分別すればリサイクル資源になる」ことなどを実際に体験する「子供環境学習会」を開催しています。



### 全国こどもエコクラブに参加しました

「こどもエコクラブ」は、子供達の環境学習や環境保全活動を支援するための環境活動クラブ制度です。ユニーは「こどもエコクラブ全国フェスティバルinみはま・はんだ」にブースを出展しました。当日は「環境紙芝居」やクイズ、エコ工作などに約450名の子供達が参加しました。



### 名古屋市「エコロジー・ワンデーツアー」

名古屋市環境学習センター主催の小学生のための夏休みのプログラムをユニー黒川店で実施しました。環境にやさしいショッピングを体験していました。



## 店舗見学に来ていただいています

### 名古屋市女性会の「くらしの環境セミナー」開催

名古屋市内のアピタ新守山店で「環境にやさしいライフスタイルとは」というテーマのセミナーが開催され、廃棄物のリサイクル機器やリサイクルボックスなどの視察と、店長からの「環境に配慮した店づくり」について、説明を受けました。



### あいちゴミ仲間ネットワーク会議の視察

愛知県内で廃棄物削減のために活動をしているメンバーが、「生ゴミリサイクル」の実施店舗アピタ東海荒尾店を視察しました。アピタ東海荒尾店では毎日500～600kgの生ゴミを乾燥処理し、堆肥の原料にしています。



# 環境負荷

## 事業活動における環境負荷

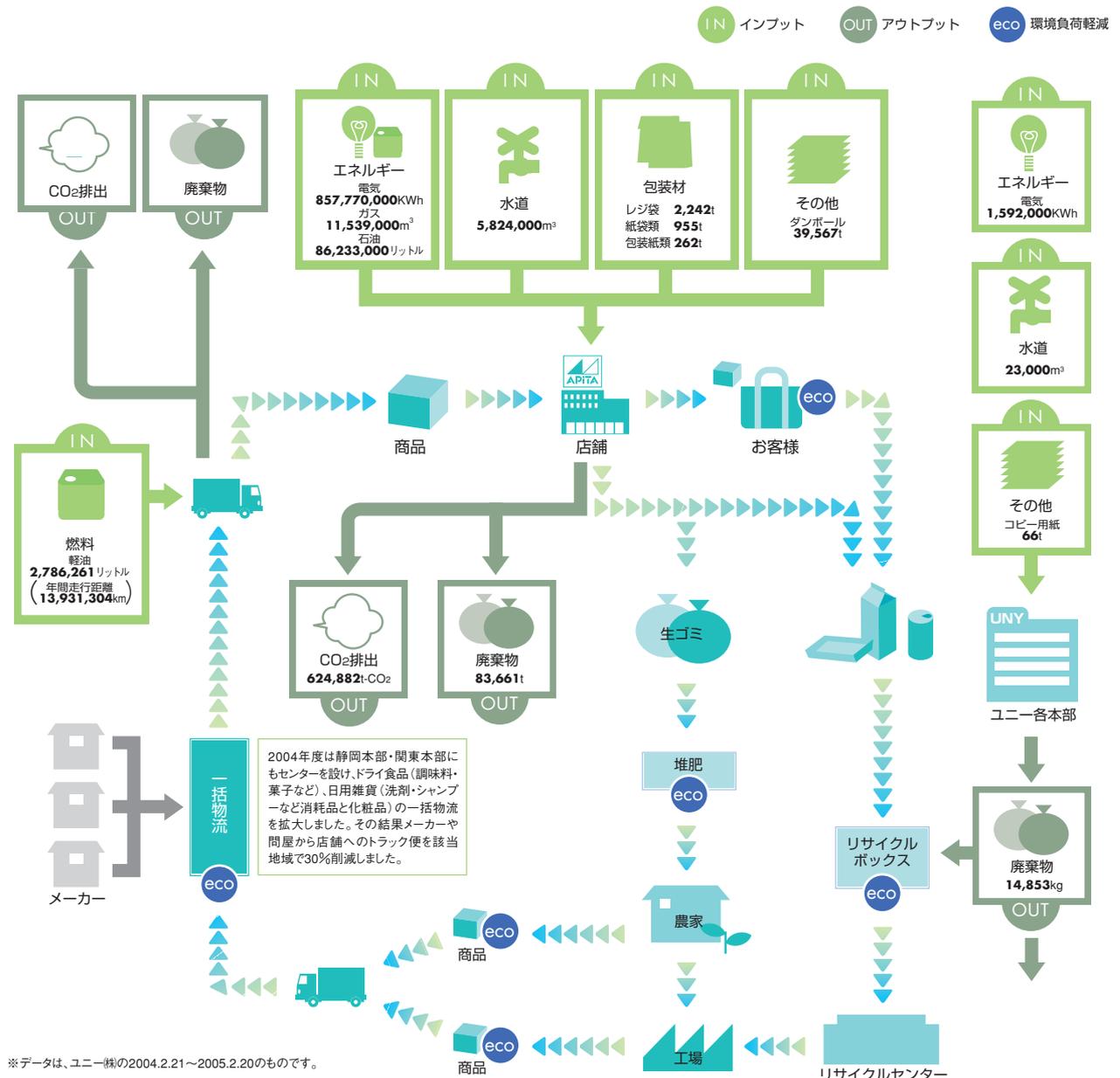
店舗や本社を含む各事業所では、事業活動にともなって、さまざまな環境負荷が発生します。これらを継続的に軽減していくために、事業活動の環境負荷の状況を調べ、従業員ならびに関係している人々が、それぞれの環境保全活動を実践しています。

## 事業活動の環境に対する影響

### 事業活動における環境負荷

店舗や事業所では、照明や空調・その他設備を稼働させるためにたくさんのエネルギーを使用しています。また、店舗に商品を搬入するためにトラック便が走り、燃料を使い排気ガスを排出しています。その他営業活動から排出される廃棄物や、お客様が商品と一緒にお

持ち帰りになる「包装資材」も環境負荷の大きな要素です。ユニーでは、「省エネ省資源」を環境方針に掲げ、できるだけ環境負荷の少ない企業を目指します。



## 省エネルギー・省資源活動

限りある資源を大切に、また環境負荷を低減するために、省エネ省資源に取り組んでいます。  
2004年は全店で節電節水、事務所内やバックヤードの室温管理に努めました。

### ユニーの省エネルギー活動

#### 事務用品の再生製品利用

文房具・名刺・トイレトーパー・チラシなどには再生製品を使用しています。特にトイレトーパーには、お客様がリサイクルボックスにお持ちいただいた、牛乳パックを含んだ再生紙が使用されています。

#### トイレの節水

流水量を調整することにより、節水に努めています。



#### 消灯の義務づけ

事務所、社内では使用していない場所での消灯を義務づけています。

#### ナイトカバーの導入

閉店後、省エネルギーのため、冷凍冷蔵コーナーにはナイトカバーをつけ消費電力の削減に努めています。



#### ブラックイルミネーションの実施

環境省主導の「ブラックイルミネーション2005」に参加しました。これは「CO<sub>2</sub>削減／ライトダウンキャンペーン」の一環で、6月19日の午後8時～10時の2時間、商業施設や家庭などに電気を消すことを広く呼びかけたものです。



### エネルギー使用量の推移

電気 (単位:千kWh)

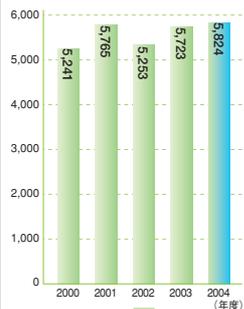


単位面積時間当たりの使用量 (単位:W/H.m<sup>3</sup>)

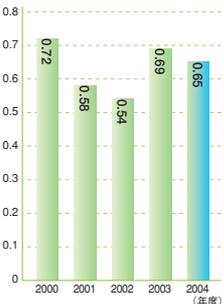


営業時間の拡大や店舗の大型化などで総使用量は増加してしまいましたが、省エネシステムの導入などにより、単位使用量は削減できました。

水道 (単位:千m<sup>3</sup>)

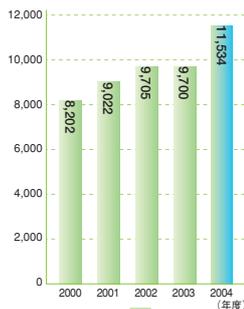


単位面積時間当たりの使用量 (単位:リットル/H.m<sup>3</sup>)

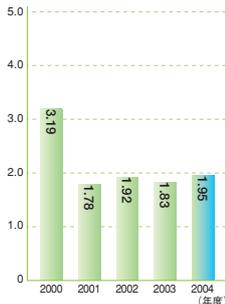


営業時間の拡大などで総使用量は増加してしまいましたが、節水システムの導入などにより、単位使用量は削減できました。

ガス (単位:千m<sup>3</sup>)

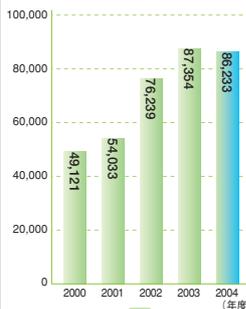


単位面積時間当たりの使用量 (単位:リットル/H.m<sup>3</sup>)

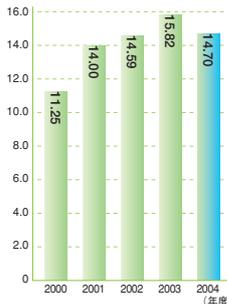


主に空調設備に使用していますが、営業時間の拡大や店舗の大型化などで増加してしまいました。

石油 (単位:千リットル)

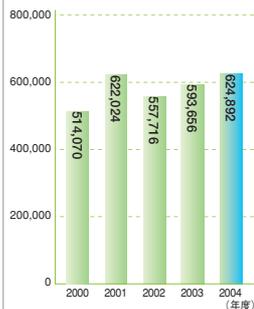


単位面積時間当たりの使用量 (単位:cc/H.m<sup>3</sup>)



自家発電を抑制したため、使用量が削減できました。

二酸化炭素排出量 (単位:t-CO<sub>2</sub>)



※「環境レポート2002」までは炭素換算値で示していましたが、「環境レポート2003」より二酸化炭素換算値で示しております。

※2002年からほとんどの店舗で営業日を増やし営業時間を延長しているため、使用量が増加したと考えられます。

※データは、各年度ともユニー(株)当年2月21日～翌年2月20日までのものです。



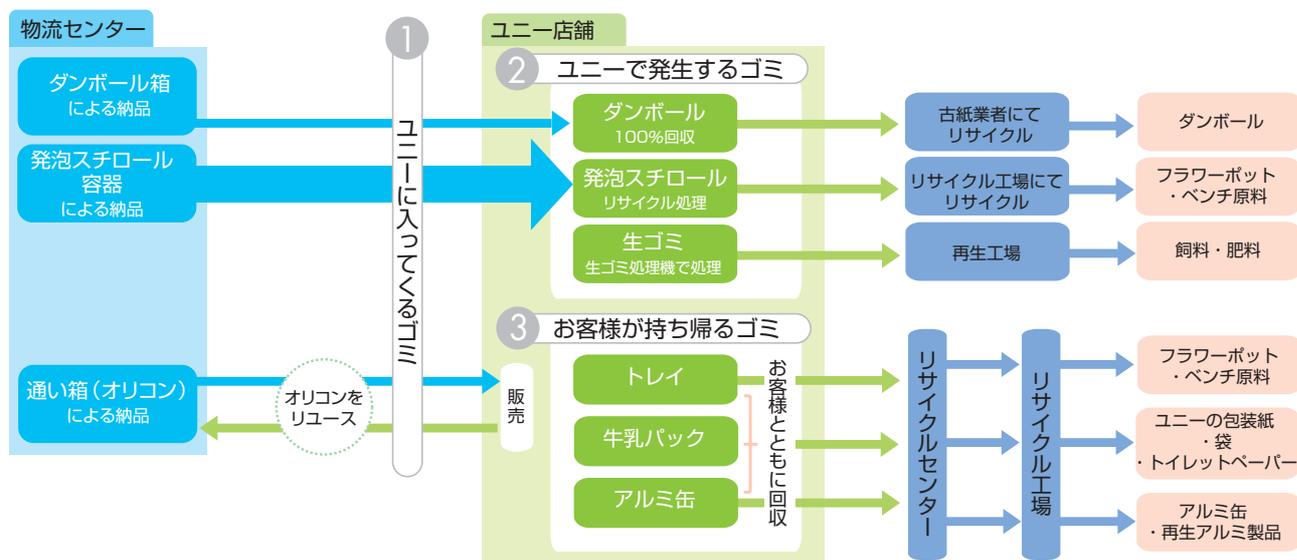
# 環境負荷軽減への取り組み

## 廃棄物削減

廃棄物をできる限り削減するために、商品搬入時の廃棄物を減らすと同時に、店舗で発生する廃棄物をリサイクルすることに取り組んでいます。お客様が商品として持ち帰った後で発生する空容器は店舗で回収、リサイクルセンターを介して再資源化しています。

## 廃棄物削減のための取り組み

### 廃棄物の再資源化



### 1 ユニーに入ってくるゴミ

商品搬入時に商品を入れてきたダンボール箱や発泡スチロールの容器を使い捨てから通い箱(オリコン)にすることによって、廃棄物の発生を抑制しています。

### 2 ユニーで発生するゴミ

店の中での販売活動や商品加工・サービスから発生する廃棄物をリサイクル資源にする取り組みをしています。

1. 発泡スチロールの再資源化 (詳細はP21)
2. 食品廃棄物の再資源化 (詳細はP13,14)
3. ダンボールは100%リサイクル

### 3 お客様が持ち帰るゴミ

牛乳パック(再生紙の原料)やアルミ缶(再生アルミの原料)、食品トレイ(再生プラスチックの原料)は、各店舗にリサイクルボックスを設置し、ゴミの再生利用をお客様と一緒に取り組んでいます。(詳細はP11,12)

## 廃棄物の計量調査

廃棄物を削減するためには、廃棄物の内容や量を把握しなければなりません。そこでユニーでは、2000年から毎年6月の環境月間に、店舗での廃棄物計量調査を実施しています。リサイクル資源に活用することを考慮して、18分類に分別し、部署やテナントなどの排出場所ごとに計量しています。その結果、ダンボールおよび紙類・発泡スチロールなどの商品搬入時に発生する廃棄物が多いことがわかりました。また、食品リサイクル法の対象となる、食品廃棄物が2003年度では全体の約26%であることが確認できました。これらの廃棄物に適正に処理をしリサイクル資源にすることで、廃棄に出す量がかなり削減できる見込みです。2004年4月にオープンしたアピタ大和郡山店は、開店当初から廃棄物計量機を常設し、廃棄物を18分類に

分別し、排出場所(直営担当別、テナント・コンセッションナリー各店別など)毎に計量しています。アピタ大和郡山店には、食品リサイクルに対応して「生ゴミの真空乾燥機」、再生プラスチック対応の「発泡スチロール減容器」を設置し、リサイクル処理し、再生資源として活用しています。今後は、一般廃棄物として排出され、焼却処理されているリサイクル可能な廃棄物(再生できる紙など)の分別を徹底し、更に排出抑制とリサイクル推進に努めます。



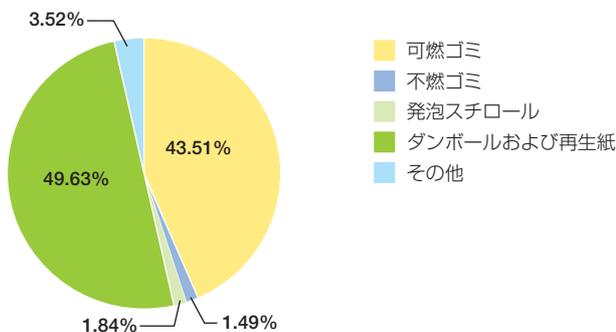
## 2004年度年間廃棄物排出量

### 店舗における廃棄物排出量

可燃ゴミの一般可燃物が減り、再生できる紙が増えましたが、これは分別の徹底により「焼却」する廃棄物が「再生資源」となり、リサイクル率が向上したからです。

区分		種類	(単位：kg)	
			2003年度	2004年度
可燃ゴミ	焼却 ゴミ	一般可燃ゴミ	12,740,900	10,542,539
		ビニール(食品系)	3,001,600	3,819,953
		小計	15,742,500	14,362,492
	食品 ゴミ	生ゴミ	15,841,100	16,504,679
		魚のアラ	4,085,700	3,306,785
		てんかす	707,800	1,089,263
		食用廃油	913,790	1,144,213
		小計	21,548,390	22,044,940
不燃ゴミ	ビン	663,000	682,451	
	缶	913,900	561,028	
	小計	1,576,900	1,243,479	
発泡スチロール			1,505,300	1,542,162
ダンボール および再生紙	ダンボール	38,608,100	39,567,091	
	紙類(再生可)	958,700	1,956,064	
	小計	39,566,800	41,523,155	
その他	プラスチック	887,000	678,906	
	ビニール(衣住系)	1,442,500	1,281,590	
	ペットボトル	430,100	339,453	
	陶器、ガラス	53,800	53,178	
	金属カス	152,300	208,281	
	その他	358,400	382,882	
	小計	3,324,100	2,944,290	
合計			83,263,990	83,660,518

2004年度 廃棄物のリサイクル率



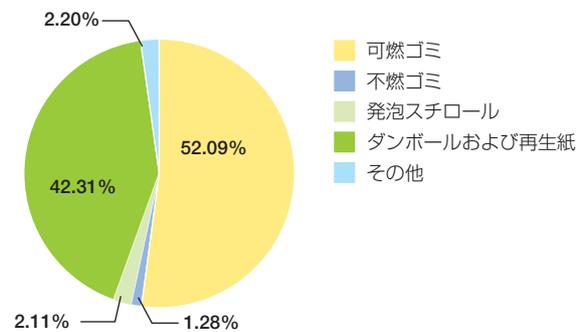
※データは、各年度ともユニー株(2004年2月21日～2005年2月20日までのものです)。

### アピタ大和郡山店における廃棄物排出量

2004年4月にオープンしたアピタ大和郡山店から、廃棄物計量機を常設し、毎日の排出量を測定・記録しています。

区分		種類	(単位：kg)	
			2004年度	
可燃ゴミ	焼却 ゴミ	一般可燃ゴミ	249,320.9	
		ビニール(食品系)	22,861.3	
		小計	272,182.2	
	食品 ゴミ	生ゴミ	220,179.2	
		魚のアラ	36,360.1	
		てんかす	11,700.1	
		食用廃油	15,177.0	
		小計	283,416.4	
不燃ゴミ	ビン	5,659.7		
	缶	8,008.9		
	小計	13,668.6		
発泡スチロール			22,541.2	
ダンボール および再生紙	ダンボール	440,614.5		
	紙類(再生可)	10,695.5		
	小計	451,310.0		
その他	プラスチック	7,026.6		
	ビニール(衣住系)	11,052.9		
	ペットボトル	2,431.4		
	陶器、ガラス	859.3		
	金属カス	273.2		
	その他	1,863.0		
	小計	23,506.4		
合計			1,066,624.8	

2004年度 廃棄物排出量の構成



※データは、各年度ともユニー株(2004年6月21日～2005年6月20日までのものです)。



# 店舗での取り組み

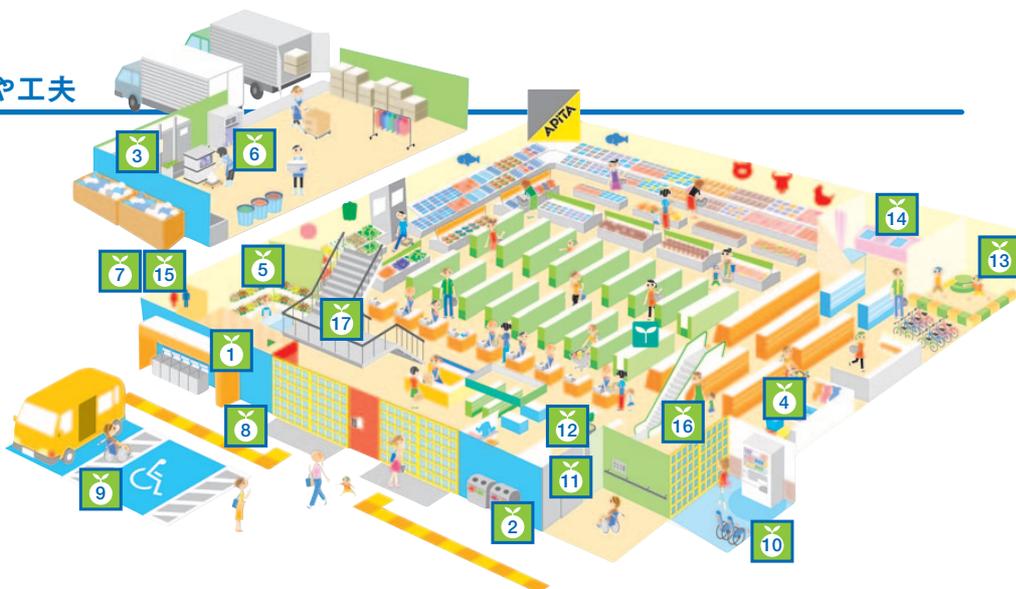
## ユニー各店舗での取り組み

ユニーは年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、すべてのお客様が快適に過ごすために、店内各所にさまざまな工夫をしています。

また、地域の皆さんと一緒に包装資材の削減や廃棄物の削減・分別など「環境保全活動」を推進しています。

### 環境に配慮した設備や工夫

“環境に配慮した店づくり”を目指しているユニーの店内では、ゴミ減量、リサイクルや省エネを推進するため、さまざまな設備を用意するとともに、販売方法にも工夫をしています。特にお客様とともに進めるゴミ減量に関しては、お客様が利用しやすいようにリサイクルステーションや、各所に分別ゴミ箱を設置しています。



#### 1 リサイクルステーション

牛乳パックをはじめ、アルミ缶、トレイ等お客様がお買い上げ後にゴミになるものを回収し、リサイクルしています。



#### 4 環境配慮商品

資源リサイクル、環境を汚さない商品、省エネ・省資源商品など環境保全を考えた商品を揃えています。



#### 2 分別ゴミ箱

店内各所に「燃やせるゴミ」や「燃やせないゴミ」など分別したゴミ箱を置き、リサイクル用にゴミを回収しています。



#### 5 情報の開示

ユニーの取り組みをポスターなどで紹介・報告しています。



#### 3 リサイクル処理機

生ゴミは肥料、発泡スチロールはプラスチックチップなど、再生資源としてリサイクルを行っています。



#### 6 廃棄物計量システム

各売場やテナントから排出される廃棄物を分別し、計量することにより、減量やリサイクルの促進を図ります。



## ユニバーサルデザイン

### 7 優先トイレの設置

車椅子でご利用いただけるトイレです。また、妊婦の方やお年を召した方もご利用いただけます。



### 8 段差のない入り口

駐車場と店内の段差をなくし、公道入り口から各玄関まで誘導ブロックを敷きました。



### 9 車椅子専用駐車場

入り口の近くに、車椅子専用駐車場を設置しました。



### 10 車椅子の無料貸し出し

店内でご利用いただける車椅子をご用意しています。



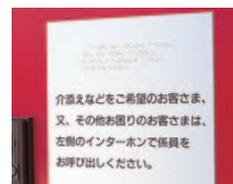
### 11 優先エレベーター

混雑時などに車椅子の方が優先的にご利用いただけます。音声案内・点字表示をし、低い位置に操作ボタンを付けました。



### 12 介添えサービスの実施

1階各出入口にインターフォンを設置し、お呼び出しによって介添えサービスのご要望にお応えします。



## お子様連れの方への配慮

### 13 小さなお子様の遊び場

小さなお子様に、安全に遊んでいただけるように、床や遊具にソフトな素材を使用した遊びのスペースを設けています。



### 14 ベビー休憩室

お子様の授乳やおむつ替えにご利用いただけるベビー休憩室（赤ちゃんルーム）を設けました。



### 15 男性用トイレにベビーシート設置

男性用トイレにもベビーシートを設置しました。



## よりよく利用していただくためのサービス・工夫

### 16 アピタの美味しい水

飲料やお料理に使用していただける浄水機を設置しました。



### 17 危険防止の工夫

危険防止のために、店内の階段には手すりを付け、足元に誘導ブロックを設置しました。



### ハートビル法

ユニーはすべてのお客様に快適にご利用いただける店づくりに取り組んでいます。ハートビル法とは「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律」の通称です。病院・劇場・ショッピングセンター等、不特定多数の人が利用する政令で定める建築物に、お年寄りや障害を持った方が利用しやすいよう、いくつかの基準が設定されており、基準を満たした建物がハートビル法として認定されます。





# 環境配慮商品

## 売場での取り組み

普段使っているものを「環境にやさしい」という視点でお客様にご購入いただくことが、自然を守るにつながります。

ユニーではムダを省いたものや環境汚染防止になるものなど、環境に配慮した商品を多く販売しています。

## 再生紙のトイレトペーパー「アローザ」

**中京本部 住関部**  
ヘルス&ビューティ担当バイヤー 千葉哲志



当社売上No.1のトイレトペーパーです。(年間82万袋生産しています)再生紙を原料にしていますが、特に回収した牛乳パックを30%配合しています。この牛乳パックは、店舗のリサイクルボックスで回収したものを持ち込んでいます。他にコンピュータープリントアウト紙や

チラシなどのカラー印刷紙などを原料にしています。

当社のトイレトペーパーの年間売上は約9.9億円、うち再生紙使用品は45%を占めています。また、「アローザ」はトイレトペーパー全体の33%の構成比です。



## 地域循環型で栽培した野菜

**中京本部 青果部** バイヤー 河合昌樹



「店舗から毎日排出される食品残渣(生ゴミ)を原料にした堆肥を使って、おいしい野菜や果物を作って、店舗で販売したい」そう考えていたところ、環境部から「生ゴミのリサイクルで、良質な堆肥ができる」という話を聞き、一緒に取り組むことにしました。環境部は、愛知経済連の協力で生ゴミから堆肥を作るところまでを担当し、それからJAの協力農家の皆さんと生産計画を立て、流通経路をつくり、店舗での販売にこぎつけました。

最初は少し心配でしたが、味も品質もお客様の支持をいただき、ずっと好評に販売しています。

5月のとある日、お客様をご招待して協力農家の皆さんとイチゴ狩りや交流会を実施しました。大変好評で、今後も「地域循環型栽培作物」の取り組みを拡大していきたいと思います。



## エコ(環境配慮型)商品の開発

**衣料本部 開発担当チーフバイヤー** 近藤隆裕



「従来品と比較して、少しでも環境に負荷がない商品」を開発しています。大量生産、大量消費、大量廃棄による環境破壊が社会問題化しており、「資源の枯渇」「ごみ問題」を少しでも解決していき、環境保全に貢献していきます。帝人ファイバー(株)が開発した原料リサイクル技術

により、ペットボトルやポリエステル商品を分解・精製して作られる再生ポリエステルファイバーを使って商品開発しました。



また、商品を掛けるハンガーもリサイクルできる素材で作られたものを使用しています。

## 再生紙で作った文房具

**中京本部 住関部**  
ホビー&スポーツ担当チーフバイヤー 原信彦



当社の文具売り場では以前から、再生紙や再生プラスチックを使用した商品を販売してきましたが、2004年にPB(プライベートブランド)商品として、封筒・便箋・ノート・レポート用紙など、ベーシックな商品を開発し、販売を始めました。これらの商品は古紙含有率が高く(ほとんどの商品が古紙100%)、お客様の購買頻度も高いので、環境保全には有効だと思っています。また、商品のデザインにも「ユニーの環境保全マーク」をつけてお客様にアピールしています。



## 資源リサイクル、環境を汚さない商品、省エネ・省資源商品

### 環境を汚さない商品

汚染防止に役立つ商品には大気・水・土壌を汚さない原料でできている商品や、汚水や排気を出さないための商品があります。



### 資源リサイクル商品

使用後にリサイクルできる商品や、再生資源からできた商品は石油や森林資源など貴重な資源の節約につながります。



### 省エネ・省資源商品

使用するエネルギーを抑えた商品、容器包装などのムダを省いた商品、長期間使用できる商品は、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減に貢献します。



### クールビズ商品

地球温暖化を防止するため、オフィスの冷房設定温度を28℃にしても、「涼しく効率的に格好良く動くことができるビジネス・ファッション」それが「COOL BIZ」です。これは環境省が提唱している「チーム・マイナス6%」のCO<sub>2</sub>削減運動のひとつです。店舗ではお客様にクールビズファッションを販売するとともに、従業員も今年の夏はクールビズで過ごしています。



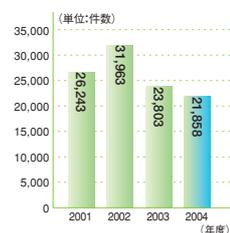
## 家電リサイクル

家電リサイクル法が2001年に施行されました。ユニーでも各店に収集庫を設置し、お客様からリサイクル家電品をお預かりして、リサイクル指定工場に運んでいます。

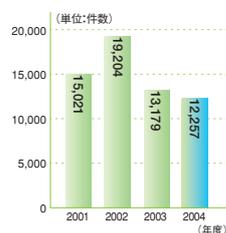


### ■ 家電リサイクル状況

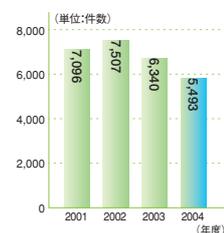
ユニー全体



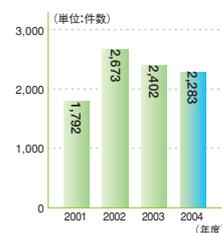
中京本部



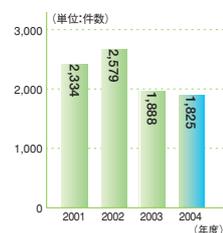
関東本部



静岡本部



北陸本部





# ピック・アップ・ストア① アピタ瀬戸店

## 「ユニー瀬戸店」から「アピタ瀬戸店」へ

2005年5月27日、ユニー瀬戸店が新たにアピタ瀬戸店としてリニューアルオープンしました。「愛・地球博」開催地のすぐそばということもあり、廃棄物の削減とリサイクルを重視し、店頭回収箱を設置して資源回収に協力するなど、環境問題に積極的に取り組んでいきます。

### 愛・地球博への参加

#### 愛・地球博に協賛

2005年3月25日から9月25日までの185日間、愛知万博(愛・地球博)が開催されています。21世紀を迎え、地球規模の問題に直面した人類の現在と未来について考えるこの万博は、多くの国や国際機関が参加する中、「自然の叡智」をテーマに新たな文化や文明の創造を目指して開催されました。万博が呼びかける「宇宙」、「生命」と「情報」、人生の「わざ」と「智慧」、そして「循環型社会」を考えるべく、ユニーもまた、愛・地球博に協賛しています。



### アピタ瀬戸店オープニングセレモニー

#### オープニングセレモニー

2005年5月27日のアピタ瀬戸店オープン当日、オープニングセレモニーが開催され、万博会場からイメージキャラクターのモリゾーとキッコロも駆け付けてくれました。



#### マイバッグキャンペーンとEXPOエコマネー

EXPOエコマネーとは、環境にやさしい行動をした万博来場者に対して発行されます。ポイントを集めればエコ商品と交換でき、国内外のエコツアーにも応募できます。アピタ・ユニー各店で展開されるマイバッグ・キャンペーンでためたスタンプは、万博開催中1個から、愛・地球博の会場内で「EXPOエコマネー」のポイントに変換できます。



### 循環型リサイクルでお客様にプレゼント

アピタ瀬戸店では、オープンにあたり食品残渣から製造した堆肥で栽培したお花をお客様にプレゼントしました。お花のポットと袋も、グリーンプラという生分解性プラスチック素材を使用しており、埋めれば土に還るといった環境に配慮したものです。お客様に喜んでいただき、リサイクルで立派に植物が育つということも知っていただきました。



## リニューアルオープンにあたって

### 幅広い層のお客様に満足いただける、新しいアピタ瀬戸店へ



店長 水越 寛

アピタ瀬戸店を、2005年のEXPO開催地に開店するにあたり、地域の方々はもちろん、瀬戸を訪れる方々にも充分満足いただける店づくりを目標に、建て替え工事を進めてきました。

旧ユニー瀬戸店は昭和47年以来、約32年間地元の皆様にあいさつされてまいりましたが、店舗の老朽化、設備やサービス機能の不足、品揃えなどにおきまして、

なかなか満足いただける店ではなくなっていました。旧店の不備を改善し、アンケートによるお客様のご希望を充分取り入れ、それらを具現化することが、新しいアピタ瀬戸店の使命と考えて取り組んできました。

特に地元に着目すること、若いお客様層へのアプローチを重点に置き、団塊世代と団塊ジュニアファミリーを中心に、親子三代でお買い物を楽しんでいただける店づくりを実現いたしました。

たとえば、アピタ初の100坪の総合ペットショップや、総ガラス張りから瀬戸川沿いの眺めをゆったりと楽しめる2階のフードコート、地域一番の規模の食品ゾーン、ドラッグの品揃えを充実させたヘルス&ビューティーコーナーなど、瀬戸店の魅力を随所で感じていただけます。

今後も地元の皆様但至少でも日々の暮らしのお手伝いのできればと考えております。

### 身近な、できることから 皆様と一緒に環境保全



業務副店長 須賀明雄

地球環境保全は、私たち自身の今一番大切なテーマです。店舗にきていただくお客様一人一人のご協力をいただいて、リサイクルボックスの活用や、レジ袋の削減など、身近なことから取り組んでいきたいと考えています。

さらに店舗から出る生ゴミや発泡スチロールなども、店内に再生処理機を設置し、リサイクル資源にしています。毎日排出する廃棄物を分別・計量して削減したり、全従業員でできることから環境保全に取り組んでいます。また、地域のお子様にも環境にやさしいお買い物などについて理解していただく活動として「お店探検隊」を実施し、「地域の皆様に愛されるアピタ」を目指します。

## 環境にやさしい、お客様にやさしい店づくり

### オストメイト対応トイレの設置

人工肛門・人工膀胱増設者のためのパブリックトイレです。広いスペースで、ゆったりと安心してご利用いただけます。



### 地下1階にペットショップがオープンしました

アピタ初のペットショップ「ペットヴィレッジ」が地下1階にオープンしました。ペットフードやおもちゃ・衣類・小屋など品揃えも豊富です。トリミングやペットホテルなどのサービスも充実しています。



### 車椅子対応自動販売機の設置

車椅子でお越しの方のために、ボタンやお金の投入口を低めの位置に設定した車椅子対応自動販売機を設置しました。お気軽にご利用いただけます。



### 万博グッズの販売

愛・地球博の会場近くということもあり、万博開催中はモリゾー・キッコロを中心にさまざまな関連グッズを販売しています。





# ピック・アップ・ストア② アピタ江南西店

## アピタ江南西店

環境にもお客様にもやさしい店づくりを目指して、アピタ江南西店が2005年6月25日にオープンしました。お店から排出される廃棄物を極力削減し、リサイクルを推進するために生ゴミ処理機と発泡スチロール減容機を導入しました。お客様と一緒に、地域環境の保全に努めていきます。

### アピタ江南西店から

#### 「楽・然・健」を目指した店づくりで、お客さまに満足



店長 横井祐司

アピタ江南西店は木曾川の南にある江南市の藤で有名な曼陀羅寺の近くにあります。既存店舗の中ではアピタ稲沢店に次ぐ、大型ショッピングセンターで、アピタを核に70の専門店が構成されています。この店のキーワードは「楽・然・健」です。「楽」とは楽しくショッピングをしていただく品揃えや専門店の誘致、わくわくするようなイベント。「然」とは自然と調和したゆとりのある空間、環境

にやさしい店づくり。「健」とは今話題の美容と健康をテーマにした品揃えや専門店を揃え、フィットネスクラブも導入しました。

また、サービスレベルの向上を目指し、「あの店に行ったら従業員は感じよく、何か聞きたいと思ったら近くにいて迅速に対応してくれる」とお客様から喜ばれる店にしたいと考えています。そして、半歩先の季節感の演出を行い、お客様のご期待に添える店づくりを目指します。これからも従業員一同、地域のお客様から信頼され、ファンになっていただけるようがんばります。



#### 環境に配慮した、やさしいショッピングセンターです



業務副店長 米森富也

現在は新しく店舗をつくるにあたって、環境保全が重要なポイントになっています。私共アピタ江南西店は、まだオープンしたばかりの店ですが、環境に配慮した設備や取り組みに関しては最新のものを取り入れ、環境配慮商品の品揃えも充実しています。

たとえば店舗から排出する廃棄物に関しては、排気量の抑制とリサイクル推進を目的に、18分類に分別をし、重量を測定しています。そして、食品廃棄物の乾燥処理機を配備し堆肥に再生し、発泡スチロールは減容機により再生プラスチックにリサイクルしています。

また、お年寄りやお体の不自由な方、また小さなお子様連れのお客様にも楽しくお買い物していただけるような店づくりをしています。

今後の取り組みとしては、本社で取得しているISO14001の認証取得を、ユニーの店舗では第一号を目指します。

### 環境にやさしい、お客様にやさしい店づくり

#### 誰にでも楽しいお買物を

より快適にショッピングを楽しんでいただくために、車椅子でご利用できるフィッティングルームや小さなお子様のためのトイレを設置しました。



#### ゆとりある空間でお客様にやさしい店づくり

広い店内でゆっくりお買い物を楽しんでいただくために、休憩していただくスペースを随所につくりました。



#### 有料ラッピング

包装資材削減のために、シンプルなラッピングを推進する一方で、特別な贈り物のために「有料ギフトラッピングサービス」をサービスカウンターで承っています。



#### リサイクル処理機の導入

廃棄物を再生資源にリサイクルするために、生ゴミ乾燥処理機と発泡スチロール減容機を導入し、できるだけ廃棄物を削減しています。



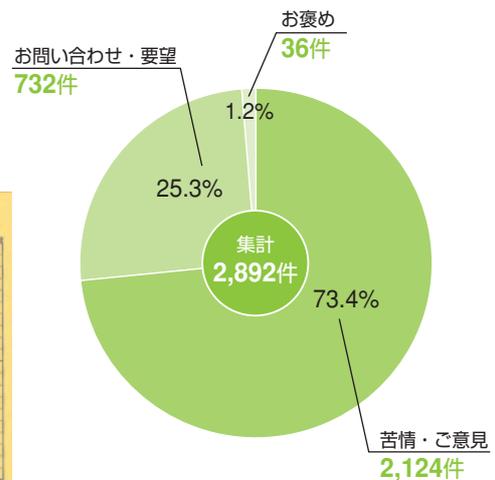
# お客様の声

## 人に優しい店づくりのために

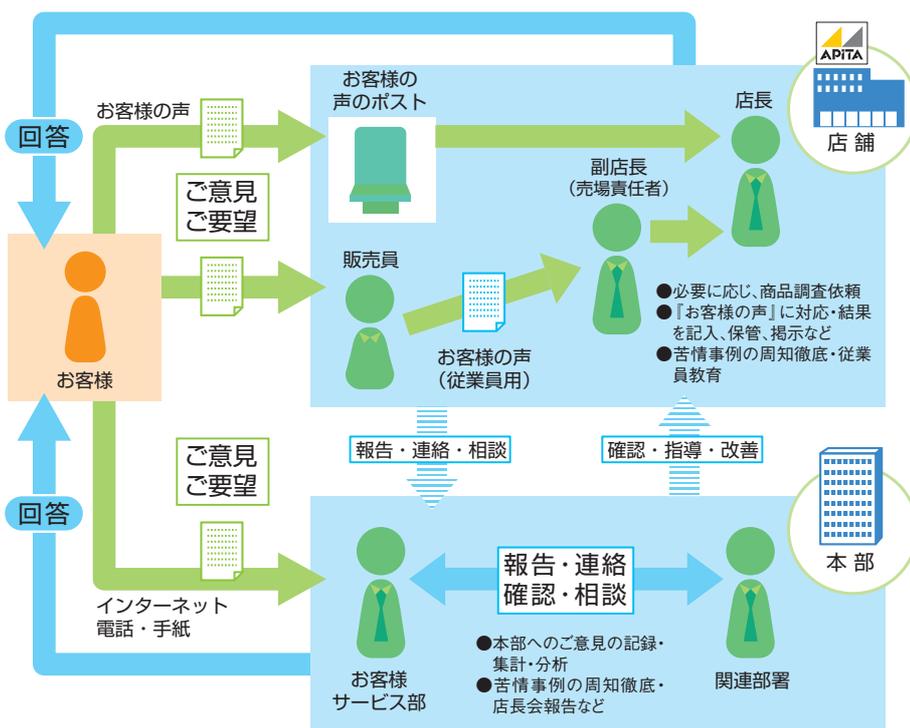
よりよい店づくりのために、何よりもお客様のご意見を大切にしています。お客様の声をお聞きし、速やかなご回答と迅速に対応をする態勢を整え、商品やサービス面を改善していきます。

### お客様の声のポスト

各店舗に設置している「お客様の声のポスト」には、お客様からさまざまなご意見やご要望、また苦情や、時には感謝の内容が寄せられています。これらの貴重な「お客様の声」をひとつひとつ大事に取り上げて、店舗や本部でお返事させていただいています。また、ポストに入っていない「お客様の声」が多々あることを十分に認識し、常にお客様に支持される店づくりに努めてまいります。



### 「お客様の声」の流れと対応



### ホームページからの環境情報発信

ユニーのホームページでは、環境保全についての取り組みを紹介しています。「エコショッピング」「環境レポート」「エコロ新聞」などがご覧いただけます。また、メールマガジン「エコロNews」も作成しており、環境保全についての有益な情報を多くの皆様へ発信しています。

環境部 ホームページアドレス  
<http://www.uny.co.jp/eco/>





# 地域への貢献、社会への貢献

## 地域の皆さんと一緒に笑顔でチャレンジ

ユニーでは各店舗の地域の皆さんと一緒に、環境保全活動や福祉団体への支援協力などを進めています。

### 環境デーなごや

#### ユニー中村店「環境デーなごや2004」で表彰

2004年8月19日ユニー中村店が「環境デーなごや」で、名古屋市より環境への取り組み優良店として表彰されました。名古屋市内120店舗のスーパー、小売市場から「マイバッグキャンペーン」やリサイクルボックスなどの活動に対し、消費者の調査により一番の成績で優秀賞に選出されました。



### こまき産業フェスタ2005「チャリティーバザー」

2005年7月28日、小牧市商工会議所によるチャリティーバザーにアピタ小牧店が参加しました。当日は店内や本社から集めた見本や供出品などを集め、慈善団体への寄付に協力しました。



### リサイクルバザー

なごや消費者団体連絡会のボランティアの皆様と一緒に、家庭に眠っている不要品を一般の方からお預かりし、バザーで販売しています。1993年より毎年開催しています。



### 名古屋市「市民総ぐるみクリーンキャンペーン」

#### 「あいちクリーンキャンペーン」

愛知万博の開催前の2月25日、名古屋市だけではなく中京本部80店舗で一斉に、店舗周辺の道路、公園などで清掃活動を実施しました。



### 地域清掃活動

ユニーの各店舗や事務所では、地域のゴミを従業員が清掃し、環境美化に努めています。



## 愛の救援衣料キャンペーンの開催

2005年5月18日、日本救援衣料センター主催のキャンペーンをアピタ千代田橋店で「家庭で眠っている衣類を海外支援に生かそう」をスローガンに開催しました。このキャンペーンは1988年より毎年行われ、今年約650名の方から、25tの衣料品や毛布をお持ちいただきました。集められた品物はユニーが神戸まで配送し、その後アフリカやアジアに送られます。



年度	来客数	総量
2001	約700人	約35t
2002	約850人	約45t
2003	約700人	約30t
2004	約650人	約25t

## 子ども図書館

「より身近な場所で、子供たちが気軽に書と出あえれば」というコンセプトで、現在4店舗に「子ども図書館」を設置しています。蔵書は1館当たり約1.5万～2万冊で、各館とも専門の司書が運営にあたっています。



## 愛の募金箱

ユニー、アピタ、ユーホーム、ラ フーズコアの各店と本部に「愛の募金箱」を設置し、お客様、お取引先、従業員の善意の輪で、皆様の財布の中で眠っている1円玉などを募金していただいています。集まった募金は毎年、地域の福祉団体などへ寄贈しております。



■2004年2月21日  
～2005年2月20日の合計

**6,486,743 円**

- 関東本部 1,652,280円
- 静岡本部 443,093円
- 中部本部 3,802,174円
- 北陸本部 589,196円



## アピタ・サークルK・サンクスレディスのチャリティー募金

ユニーグループが主催する、日本女子プロゴルフ協会公認の大会がユーグリーン中津川ゴルフ倶楽部で開催されました。イベントでは参加者からチャリティー募金を募り、中津川市社会福祉協議会に寄付しました。

■募金合計  
**277,139 円**



## 富山県認定のエコショップに参加しています

2003年より富山県内の7店舗が富山県よりエコショップに認定されています。今年は新しく開店したアピタ黒部店も認定されました。





みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



ユニー株式会社 環境部

愛知県稲沢市天池五反田町1番地  
TEL.0587-24-8093 FAX.0587-24-8034  
<http://www.uny.co.jp>



自然との調和を大切に

「未来の子供達に美しい自然を残したい」  
ユニーは環境に優しい生活をお客様と一緒  
に進めていきます。



このレポートは、FSC認証紙と環境に配慮した植物性大豆油インキを使用し、  
水なし印刷方式で印刷しています。